

平成 2 5 年 第 3 回 定例会
(9 月 1 7 日)

代 表 質 疑 資 料
(2 回 目)

自由民主党千葉市議会議員団

向後 保雄

平成 2 5 年 第 3 回 定 例 会 （ 9 月 1 7 日 ）

通 告 時 間 ： 6 0 分

ご 答 弁 あ り が と う ご ざ い ま し た 。

こ れ か ら は 、 要 望 を い く つ か 述 べ さ せ て い た だ き ま
す 。

(1) 財政運営について

初めに、財政運営についてです。

平成24年度の決算は、実質収支の黒字を確保したものの、市債管理基金への償還を一部取りやめざるを得ないなど、厳しい収支状況であったとのご答弁でした。また、健全化判断比率も依然として政令市ワーストの見込みとこのことでもありますので、依然として千葉市の財政は厳しい状況であり、財政再建は道半ばであります。しかしながら、市債残高は着実に減少するとともに、公債費負担に関する指標も改善するなど、財政再建に向けた取組の成果は表れてきておりますので、今後も引き続き健全化に向けた取り組みを推進されるよう要望いたします。

(2) 包括外部監査について

次に、包括外部監査についてです。

本年度の包括外部監査人は監査法人トーマツ所属の公認会計士の猪瀬忠彦さんで、制度導入以降5人の包括外部監査人が選考されてはいますが、いずれも監査法

人所属の公認会計士と伺っております。

一方で、他都市では、税理士が包括外部監査人になっている事例があり、また補助者として税理士が監査業務に携わっていたり、多くの団体に監査委員として活躍しているなど、包括外部監査において税理士が果たす役割は大きいものと考えております。

税理士は、税務に関する専門家として、独立した公正な立場に立って納税義務の適正な実現を図ることを使命としており、千葉県税理士会では外部監査に関する研修を継続的に実施し、外部監査人として一定の水準に達した履修者が多数おります。

選考にあたっては、幅広い知見を有する人材の選考に配慮することですので、公平な審査によって、税理士も包括外部監査人として、地方自治の健全な発展に寄与する道が開けるよう要望します。

(3) 避難所運営委員会について

次に、避難所運営委員会についてです。

9月1日現在、市内に79の避難所運営委員会が設

立されているとの答弁をいただいたところですが、設立しても、これからどう進めていいのかわからないといった声も聞いております。

運営委員会の委員長には、市から任命書を渡すなど、目に見える形で、自覚を促すような工夫についても検討してもらえるようお願いいたします。

また、設立状況についても地域により温度差があるようですので、市としても地域のばらつきや設立の遅れが生じないように、積極的に働きかけてもらえよう要望します。

(4) 戸籍の電子化について

(時間に余裕がある場合)

次に、戸籍の電子化についてです。

戸籍の電子化を進めることは、事務の効率化を図る上で重要であり、現在の高度情報社会においては当然のことではありますが、その一方で、戸籍は、極めて重要なプライバシーが記録されているものであり、そのような情報を預かる市には、データの厳重な管理が求

められるところであります。

したがいまして、戸籍の電子化にあたっては、情報機器を適正に管理することはもとより、職員一人ひとりが、重要な電子情報を取り扱っていることを、より深く自覚するなど、ハード、ソフト両面でのセキュリティー対策に万全を期していただきたいと思えます。

(5) 生活困窮者自立促進支援モデル事業について

(時間に余裕がある場合)

次に、生活困窮者自立促進支援モデル事業についてです。

生活保護世帯が過去最多を更新し続ける中、もはや生活保護制度だけで全ての生活困窮者に対処していくことは困難な状況となっており、今後は、新たなセーフティネットを充実させることによって、生活保護に至る前の生活困窮者を支援していくことが必要であると考えます。

1回目の質問で、これから取り組んでいこうとする生活困窮者自立促進支援モデル事業の概要については

理解いたしました。

モデル事業は、全額国庫補助であるのに対し、新法施行後は、必須事業では4分の3の国庫負担、任意事業に至っては、事業により3分の2や2分の1の国庫補助率となることもわかりました。

このため、モデル事業については、課題や効果を十分検証し、市の財政負担も十分に考慮した上で、実施する任意事業をよく吟味するなど、27年度からの本格施行の際の制度設計にしっかりと反映させていただくよう求めます。

また、自立・就労サポートセンターについては、働くことが可能な方には、その能力を十分活用していただき、一刻も早く自立していただくため、国との連携のもと、本センターを効果的に活用していただけるよう求めておきます。

(6) 中央港地区のまちづくりについて

次に、中央港地区のまちづくりについてです。

千葉中央港地区のまちづくりは、中心市街地の中央公

園、通町公園の拡充整備とともに、千葉都心に回遊性を生み出し、活性化をもたらす重要なプロジェクトとして位置づけることができます。

本年10月1日にウエストリオが供用開始されると共に、平成26年3月末には、千葉港に向けた千葉駅西口広場が完成し、千葉駅と千葉中央港地区が千葉港黒砂台線で直結されることで、千葉中央港地区の位置づけが益々重要となってまいります。

このような状況下、千葉中央港地区で行われている旅客船棧橋の整備では、防波堤や護岸などの港湾施設も海面上に姿を現し、いよいよ千葉港から旅客船が出港していく姿が想像できるようになります。

また、港に面した土地には、新たな結婚式場の建設が予定されているなど、港湾施設と一体となった街が近々生まれてくるものと期待できる状況となってまいりました。

今後の千葉中央港地区のまちづくりにあたっては、港湾施設や旅客船ターミナルなどの新たな拠点施設の整備だけでなく、ポートパークやポートタワーなど、

既存の周辺施設と一体となって賑わいを作り出していくことが重要で、各種イベントの開催等、既存施設を活かした活性化策を合わせて要望します。

また、海辺の活用においては、千葉中央港地区だけでなく、港湾計画に盛り込まれた事業の実現を図り、海から見た千葉市を楽しみながら幕張新都心、千葉都心、蘇我副都心が海上交通で結ばれることも千葉市全体の活性化を図る上でも重要であることから、海辺を活かしたまちづくりを着実に進めていただくことを要望します。

(7) 消防団体制の充実強化について

次に、消防団体制の充実強化についてです。

地域の防災拠点としての消防団器具置場の改築、及び小型動力ポンプ付積載車の導入や活動用資器材を計画的に整備するほか、消防団員の増員対策として、処遇についても検討していただきたいと思えます。

今後も、引き続き市民の生命・身体・財産を守り、安全な街づくりに貢献することができる消防団を目指し

てもらいたいということをお願いしておきたいと思えます。

(8) 夢広がる学校づくり推進事業について

最後に、夢広がる学校づくり推進事業についてです。

文部科学省では、全国的にいじめ問題が深刻化していることを受け、いじめの未然防止のため、児童の健全育成を目的として、宿泊体験活動の推進を図るよう求めています。そうした中、本市が先進的かつ多年にわたり継続的、体系的に体験活動を推進してきたことは、豊かな心と社会性、たくましい心身を備えた児童の育成を図る上で、多大な成果を上げており、大いに評価するところであります。

また、宿泊体験活動のさらなる充実に向け、昨年度から千葉県内でもホームステイを実施し、今年は約1,400人がホームステイを体験するまで拡大されたことは、大変すばらしいことと思えます。

千葉市で学ぶ多くの小学6年生がホームステイを体験できるように地元の方々への要請、連絡、調整など

多大なご苦勞があったことと推察されます。

千葉県内や茨城県などさまざまな関係市町村と協力を進め、ホームステイの拡大が一層図られることを期待します。

今後も、児童一人ひとりが人や社会とのかかわりや自然と直接触れ合う体験の機会を提供することにより、「夢と思いやりの心を持ち、チャレンジする子ども」を育てていくために、農山村留学推進事業のさらなる充実に努めていただくよう要望いたします。

結びに、我が会派では、平成26年度予算編成に向けての要望事項を取りまとめており、近く市当局に提出する予定であります。

いずれも市民の皆様からの切実な要望に基づくもので、これからの本市のまちづくりにとって重要な事項でありますので、最大限市政に反映されますようお願いし、自由民主党千葉市議会議員団を代表しての私の質疑を終わります。

ご静聴ありがとうございました。